

平成30年度事業計画

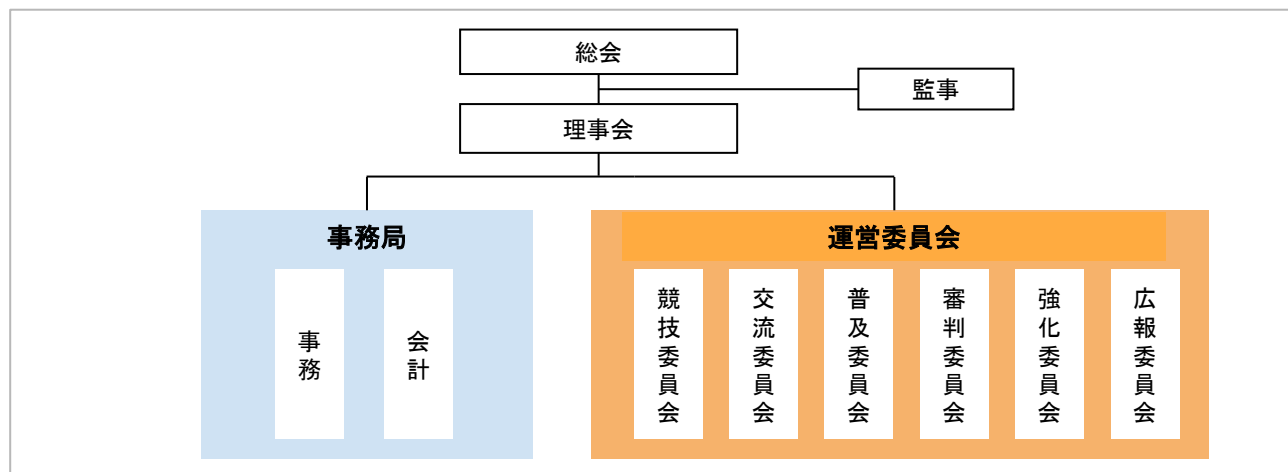
自 平成30年1月1日 至 平成30年12月31日

1. 理事等

2017年3月に役員改選を経て、新体制に移行し1年を経過した。日本デフバスケットボールの普及・発展の促進につなげるべく更なる組織活動の効率化・円滑化を図るため、2018年4月から組織体制を再構築する。事業活動の見直しも行い、2017年度まで1本の事業として運営活動してきた普及・交流事業を2018年度から明確に区分し、それぞれ委員会を設立する。また、審判事業も新設する。

新設事業部門および組織図

(新設) ■ 交流委員会 ■ 普及委員会 ■ 審判委員会



規程の整備

協会活動を行うにあたり組織が適正性を保ち、また選手、協会関係者等の社会的保障を図るため、アンチ・ドーピング規程、反社会的勢力への対応に関する規程、倫理規程など他各種規程を整備し2018年度より施行を目指す。

その他

■ 日本障がい者バスケットボール連盟

公益財団法人日本バスケットボール協会の傘下団体として、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟、日本車いすツインバスケットボール連盟、日本 FID バスケットボール連盟の代表で構成し、2018年4月1日に日本障がい者バスケットボール連盟が設立される予定。

■ 会員受付手順の変更

会員登録受付手順をメールフォームに切り替える。

■ 会員証の発行

2018年度より開始する。会員加入済かを各自で確認することが可能となる。

2. 各事業報告

競技大会の開催及び運営に関する事業

■ 2018年度競技大会実施計画

大会名	実施日	実施場所
第7回東日本大会	H30.7.21 - 22	横浜ラポール
第7回西日本大会	H30.10.6 - 7	アミティ舞洲
第4回アジア太平洋クラブカップ (DIBF主催) ※1	H30.11.20 - 25	オーストラリア・メルボルン
第5回理事長杯	H30.12.1 - 2	名古屋市体育館

※1 2017年に行われた第4回理事長杯で優勝・準優勝したチームが出場予定。

【男子の部】誠Family (大阪)、EMPERORS (福岡)

【女子の部】東京VAMOS、EMERALD (福岡)

■ 競技大会（東日本大会、西日本大会）参加資格の変更

参加資格基準を東と西で大きく区分し、偏りを解消し双方ともに士気を高めることを目的とする。

- ・ 制限をかけることで、人数不足でも地域のろう者に呼びかけ、デフバスケを教えることで普及活動につながる。
- ・ 地域で日々練習を積むことで、チームの存在意義をあげてほしい。また、地域のレベルアップにもつながる。

＜ 旧競技規則 —2017年度まで— ＞

参加資格

- (1) 登録選手が下記のように構成されているチームであること。
 - ・ チームに2018年度日本デフバスケットボール協会会員が2/3以上、在籍が認められること。
 - 例1 登録選手が5人の場合、4人以上
 - 例2 登録選手が8人の場合、6人以上
 - 例3 登録選手が10人の場合、8人以上上記の人数にスタッフ及び聴者は含めないものとする。
- (2) 定められた日程の全てに参加することが可能であること。
- (3) 日頃からバスケットボールチームとして活動をしていること。
- (4) チーム構成は1チーム15名までとする。



＜ 新競技規則 —2018年度より— ＞

参加資格

- (1) 登録選手が下記のように構成されているチームであること。
 - ・ 各ブロック内（東日本、西日本）に在住、在勤、在学していること。 ※1
 - ・ 15歳以上（中学生を除く）であること。
 - ただし、高校生は保護者の同意書を提出すること。
 - ・ チームに2018年度日本デフバスケットボール協会会員が2/3以上、在籍が認められること。
 - 例1 登録選手が5人の場合、4人以上
 - 例2 登録選手が8人の場合、6人以上
 - 例3 登録選手が10人の場合、8人以上上記の人数にスタッフ及び聴者は含めないものとする。
- (2) 定められた日程の全てに参加することが可能であること。
- (3) 日頃からバスケットボールチームとして活動をしていること。
- (4) チーム構成は1チーム15名までとする。

※1 東西ブロック基準

JDBAで定める東西の境界線は、左図の通りとする。

東日本：石川、富山、長野、静岡

西日本：福井、岐阜、愛知

＜境界線決定理由＞

- ・ 現時点の各ブロック内チーム数のバランス
- ・ 公共交通機関の利便性等



新ルールに従い難しい事情等がある場合は、予めJDBA競技委員にご相談いただくことで柔軟に対応する。

■ 聴者オンザコート制

聴者オンザコート1の適用は2018年度も継続する。

... 2019年度以降も現状継続もしくは撤廃の決議については、会員、大会関係者等を対象にアンケート調査等の実施のもと、総合的に判断する。

競技者の強化育成に関する事業（男女共通）

■ 国際大会派遣

下記各大会に向け、日本代表・強化指定選手の強化を目的とした強化合宿・選考を実施する。

U21デフバスケットボール世界選手権以降、男子はアジア太平洋ろう者競技大会、デフバスケットボール世界選手権出場に向けて引き続き強化合宿を実施。女子は7月以降、8月に強化会議を実施し、デフバスケットボール世界選手権に向けて強化体制の再編成、トライアウトを経て代表選手の選出を実施する。

U21デフバスケットボール世界選手権	2018年7月	アメリカ
第9回アジア太平洋ろう者競技大会	2019年11月	香港
第5回デフバスケットボール世界選手権	2019年	開催地未定

■ 強化合宿

強化事業計画に沿って主に関西で実施する。

■ 強化体制整備

強化事業の体制・運営を定期的に協議するため強化会議を数回実施する。アンチ・ドーピング研修会等も出席予定。

地域の振興・交流に関する事業

2018年度より、普及交流事業から分離し、「交流事業」として事業活動を開始する。バスケットボールを通して、聴者また聴覚以外の身体障がい者との交流の機会も設け、相互理解を深めるきっかけを作ることを目的とする。

■ 2018年度実施計画

事業	実施日	実施場所	予算
第16回福岡ミニリーグ	H30.3.24 - 35	クロスパルこが	1,295,000 円
第17回東京ミニリーグ	H31.3.29 - 31	東京	2019年度予算協議中

■ 事業体制・運用の再整備

交流事業の目的、方針、運用等を再協議し活動基盤を固める。

審判の育成に関する事業

審判員育成・登録・大会派遣等を総括する事業体制の整備を行い、2018年度より立ち上げる。

アンケート調査を実施し、審判事業に関するニーズ・課題をまとめる。

■ JBA審判講習会における情報保障

JBA主催の審判講習会にて聴覚障害者も情報保障を受けられる環境を作ることを目的とする。下準備として、審判講習会の流れ、運営体制等を確認の上、協会間で協議を行い実現を目指す。

■ デフ審判員育成事業の整備

育成制度、ライセンス取得制度等の整備を行うため、国際デフ審判委員会とも協議を行い準備を進める。

■ 学習機会の提供

- ・ ホームページ... 公式サイトにて競技規則変更に関する特設ページを設置し、競技規則について情報発信を行う。
- ・ 審判及びTO講習会の実施... 審判及びTOの知識・技術向上及び人材育成を目的とした講習会の計画を済める。
- ・ 国際クリニックへの派遣... DIBFが主催するデフ審判クリニックへの派遣手続き等事務全般を行う。
2018年度は、7月2～6日にアメリカ合衆国ワシントンD.Cにて開催。

全国並びに国民に対する広報に関する事業

■ 公式サイトの運用

更なるコンテンツ内容の充実と、情報発信を引き続き行う。

■ JDBA公式グッズ計画

継続的な宣伝効果を果たすため、また、収益を競技事業、普及事業他、事業全般に充当する。

■ U21日本代表選手応援イベント計画

日本代表合宿にて宣伝を兼ねた応援イベントを実施する。外部取材を呼び込み、知名度向上につなげることも目的とする。

地域への普及に関する事業

2018年度より、普及交流事業から分離し「普及事業」として事業活動を開始する。
デフバスケットボールの人口増加・知名度向上を目的とする。

■ 2018年度実施計画

事業	実施日	実施場所	予算
第4回九州デフバスケットボールフェスティバル	H30.6.16	太宰府市総合体育館	69,568 円
デフバスケットボール体験会	検討中	検討中	2-3万/1回

- ・ 第4回九州デフバスケットボールフェスティバル
（目的） 聴者やデフの子供たちを対象にデフバスケットボールを楽しむことができるイベントやクリニックを行う。
- ・ 小学生を対象としたデフバスケットボール体験会
（目的） 全国各地で活動している各チーム代表と連携し企画を立て、各地の学校体育館等にて実施する。
本企画への参加者の意欲向上を促すシールを制作し、目標達成者に配布する。